

TOTO

大便器自動フラッシュバルブ オートクリーンC(ウォシュレット連動タイプ) TEVN30E型(水道水) (パブリックコンパクト便器CS494系専用) TEVN40E型(再生水)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
 必ず実行	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 警告	
 禁止	信号線が破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、火災の原因になります。
 必ず実行	ウォシュレットと接続する 他の信号線や電源線と接続した場合、火災や感電、故障のおそれがあります。

 注意	
 必ず実行	バルブ本体は重いため取り扱いには十分に注意する 便器などに落とすと、便器が破損して水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、けがをするおそれがあります。

 注意	
 禁止	機能部に水をかけない 故障の原因になります。
 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
 禁止	凍結が予想される場所には設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
 禁止	本体の通水路には抵抗となるような部材(オリフィスなど)をつけない 洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。
 水場使用禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しない 故障の原因になります。
 分解禁止	分解したり、修理・改造は絶対に行わない 故障の原因になります。

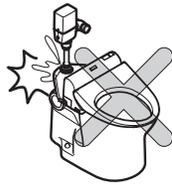
1-2.

⚠ 注 意

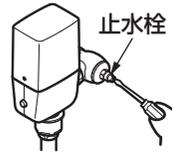


必ず実行

空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする。新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



ピストンおよび止水栓フィルターの掃除をする際は、いきなりピストンおよび止水栓フィルターを取り出さず、止水栓または元栓を確実に閉めてから行う (P.7を参照してください)。水が噴き出て、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



2.仕様

タイプ		パブリックコンパクト便器 CS494系専用 (ウォシュレット連動タイプ)
工場出荷時標準洗浄水量		大洗浄：4.8L 小洗浄：3.6L
給水圧力	最低必要水圧(流動時)	0.07MPa
	最高水圧(静止時)	0.75MPa ※ただし、流動圧0.5MPa以上は止水栓調節が必要
電源		ウォシュレットから供給されます。 (駆動電圧：DC24V)
消費電力		ウォシュレットの消費電力に含まれます。
信号線長さ		約600mm
人体感知		ウォシュレットの着座センサーによる
人体感知時間		ウォシュレットの着座センサーにて、6秒間以上
自動洗浄開始時間		ウォシュレットの着座センサーが切れて、約10秒後
小洗浄判定時間		120秒後または150秒に設定可能 工場出荷時120秒(注1) (ウォシュレットのリモコンで切り替え可能)
給水接続部		25A (ねじサイズ：R1)
使用温度範囲		1～40℃
使用水		TEVN30E型：水道水のみ TEVN40E型：水道水・井戸水・再生水・雑用水(注2)

(注1) 小洗浄判定時間の変更方法はTOTO(株)お客様相談室へお問い合わせください。
ウォシュレットのリモコンで設定の変更が可能です。

(注2) 井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。
詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

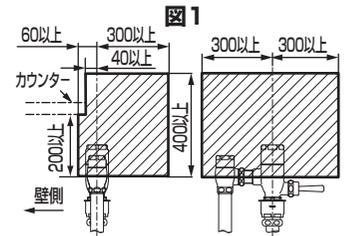
ホームページアドレス：<https://www.com-et.com/jp/>

3. 取り付け前に

1. 取付条件の確認

- TOTOの腰掛便器CS494系専用の自動フラッシュバルブです。
- ウォシュレットと自動フラッシュバルブ間の信号線は付属の接続コードをご使用ください。また、付属の信号線の延長は自動フラッシュバルブが作動しないおそれがありますので行わないでください。
- C14系の床給水便器からの取り替えの場合は、専用洗浄管とフランジが必要です。別途、TN129R(水道水以外を使用する場合はTN129DR)を手配してください。
- 既設のフラッシュバルブ付近に手すりなどがある場合には取り付けできません。(図1参照：斜線は必要空間寸法)
- ウォシュレットを取り付ける際、水道水仕様品はTH343型(アダプター)を、再生水仕様品はTH484V3型(アングル形止水栓)を別途ご購入ください。

(単位：mm)



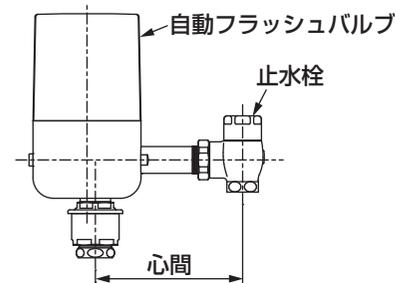
※カウンターが飛び出したりしている場合はご注意ください。

2. 洗浄水について

- TEVN30E型は水道水のみ、TEVN40E型は水道水・井戸水・再生水・雑用水に使用できます。ただし、井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。ホームページアドレス：<https://www.com-et.com/jp/>

3. その他

- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 自動フラッシュバルブの給水方向は、左右どちらにも対応できます。
- 床給水の場合は、パイプホルダーで給水管と洗浄管を確実に固定してください。
- 心間調整について
壁給水用は心間120～130mm、床給水用は180±10mmで心間調整が可能です。それ以外の心間にする場合は、下記品番の連結管を別途ご注文ください。(取替要領はTHD89P型の施工説明書を参照してください)

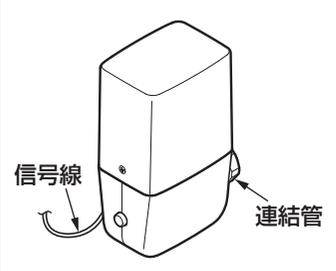
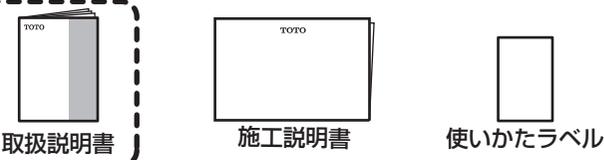


TH品番	心間寸法(mm)
THD89P120	120(0～+10)
THD89P140	140±10
THD89P160	160±10
THD89P180	180±10
THD89P200	200±10

心間は標準寸法に対して±10mmの範囲で調節可能です。
ただし、心間120mm連結管の場合は120～130mmで調節可能です。

4. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

自動フラッシュバルブ本体	給水・洗浄管部
	
その他	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>必ずお客様にお渡しください</p>  </div>	

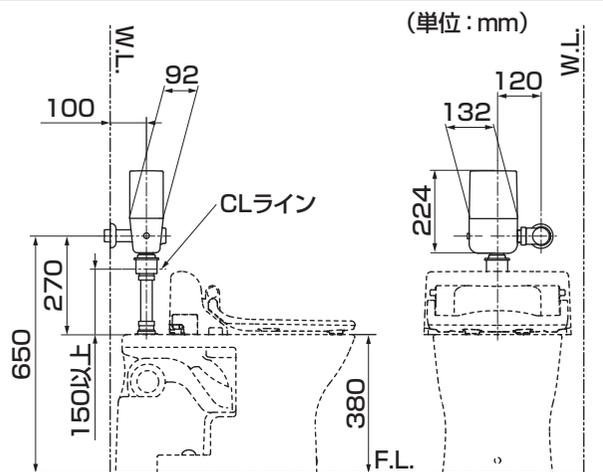
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5. 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

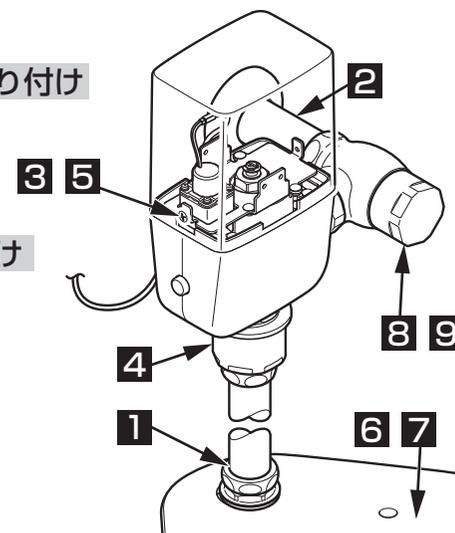
腰掛便器とセットする場合

※バキュームブレイカー側面の「CL」ラインから便器のあふれ縁までは150mm以上を確保してください。「CL」(Critical Installation Level)とはバキュームブレイカーの空気吸入シート面の位置を示す線です。



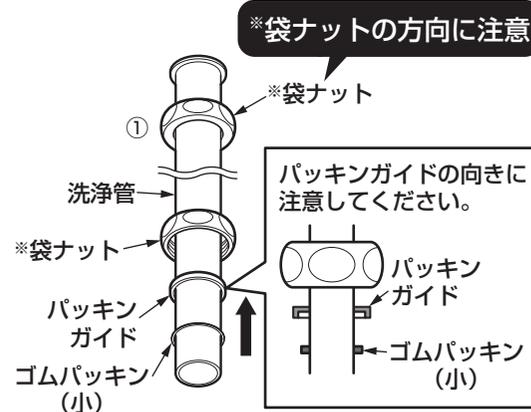
6-1. 施工手順

- 1 スパッドと洗浄管の取り付け
- 2 給水管とフィルター付き止水栓の取り付け
- 3 給水方向を変更する場合
- 4 バキュームブレイカーの取り付け
- 5 自動フラッシュバルブ本体の取り付け
- 6 洗浄水量の調節
- 7 ウォシュレットの電源の確認
- 8 止水栓フィルターの清掃
- 9 水勢の確認



1-1 スパッドと洗浄管の取り付け

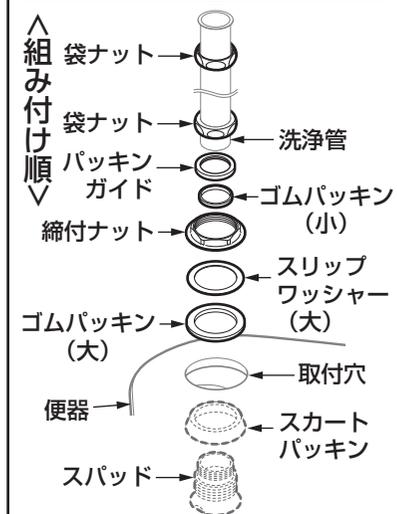
- ① 洗浄管に*袋ナット (2個)、パッキンガイド、ゴムパッキン (小) を挿入する。



注意

パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。

自動フラッシュバルブ本体側

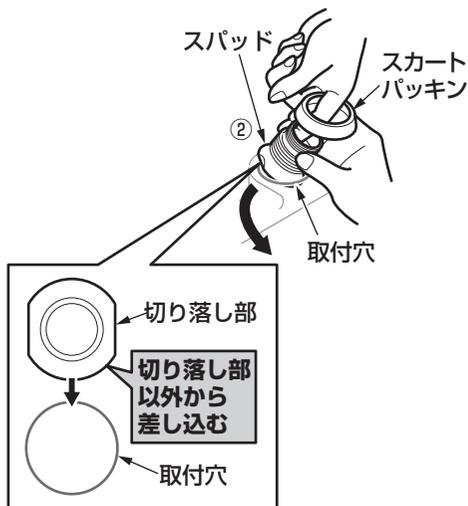


便器側

1-2 スパッドと洗浄管の取り付け(つづき)

②あらかじめ指にスカートパッキンを通し、スパッドを落とさないように取付穴に差し込む。

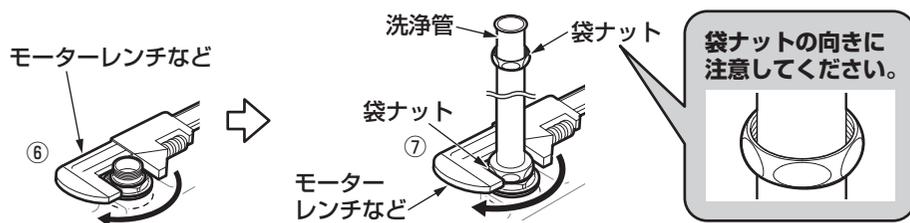
右図のように切り落し部以外から取付穴に入れ、切り落し部を通過させるように差し込んでください。
※始めに切り落し部から差し込むと、取付穴と干渉し、通過しない場合があります。



- ③スパッドと陶器の間にスカートパッキンを押し込み、スパッドに組み込む。
④ゴムパッキン(大)・スリップワッシャー(大)の順にスパッドに組み込む。
⑤あらかじめ指に締付ナットを通し、スパッドを取付穴の中心で引き寄せ、締付ナットを手で締め込む。



- ⑥最後にモーターレンチなどの工具を使用して確実に締め込む。
⑦スパッドに①でセットした洗浄管を差し込んで、袋ナットを締める。



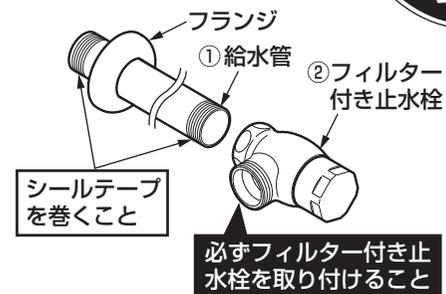
2 給水管とフィルター付き止水栓の取り付け

重要

自動フラッシュバルブ本体を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

- ①給水管を所定の位置に取り付ける。
②給水管にフィルター付き止水栓を取り付ける。

必ず同梱のフィルター付き止水栓を取り付けてください。



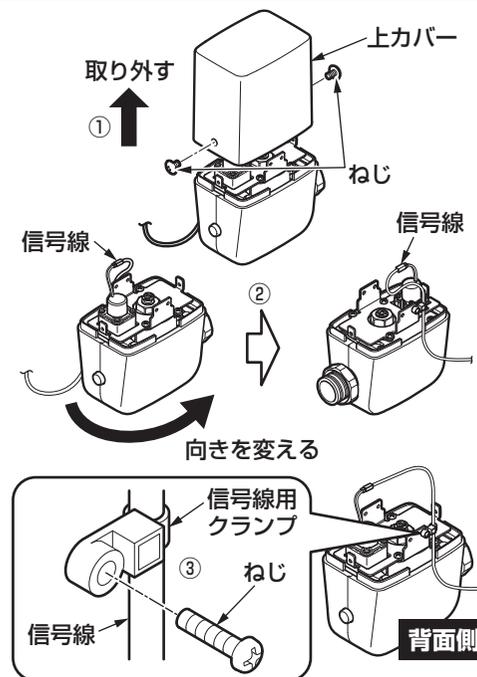
注意

フィルター付き止水栓を使用しないと、配管内のごみが流れ込んで商品内の定流量弁部にゴミが詰まり、正常に機能しなくなります。

3 給水方向を変更する場合

この作業は自動フラッシュバルブ本体を洗浄管に差し込む前に行ってください。

- ①上カバーを固定しているねじ(2カ所)を外し、上カバーを取り外す。
②自動フラッシュバルブの向きを変更してください。
③信号線用クランプの前後の取り付け位置を変更する。(背面側に取り付ける。)
④上カバーを取り付ける。

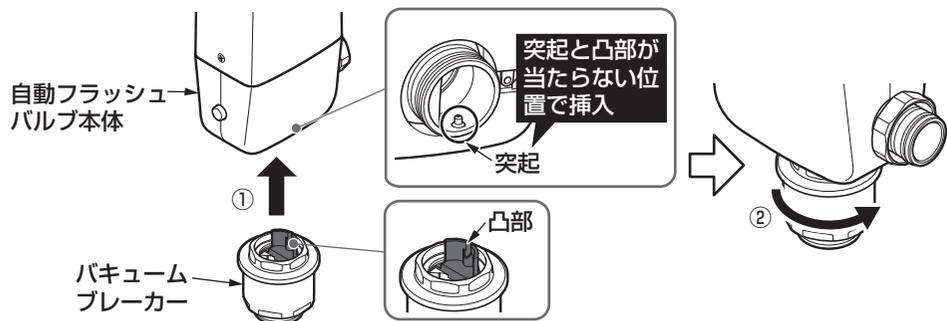


裏面へつづく

4 バキュームブレーカーの取り付け

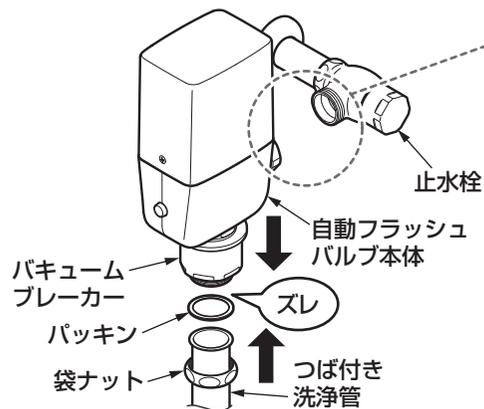
- ①バキュームブレーカーを自動フラッシュバルブ本体に挿入する。
- ②バキュームブレーカーを回転させて締め付ける。

※少しねじが固いですが異常ではありません。



5-1 自動フラッシュバルブ本体の取り付け

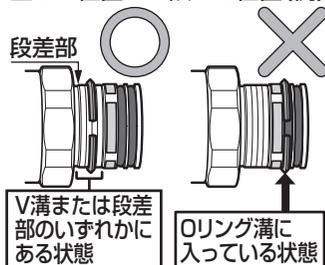
- ①自動フラッシュバルブ本体を止水栓に仮接続する。
- ②バキュームブレーカーにつば付き洗浄管の袋ナットを仮接続する。
- ③自動フラッシュバルブ本体と止水栓の心間にズレがある場合は、右記の**心間調節方法**を参照して、調節する。



注意

挿入前に止め輪が正しく溝にはまっていることを確認してください。

正しい位置 誤った位置(例)



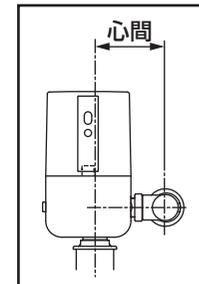
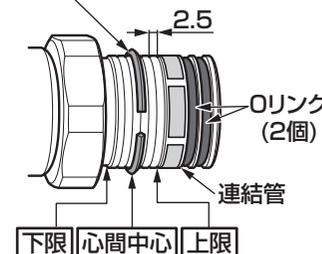
注意

- つば付き洗浄管の袋ナット部には必ずパッキンが入っていることを確認してください。
- つば付き洗浄管が長い場合はスパッド側を切断し、調節してください。

止め輪 (V溝に沿って動かす) V溝のピッチは2.5mmです。

(単位: mm)

心間調節方法



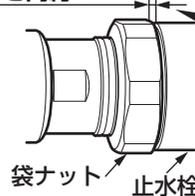
(心間180の場合) 170~180~190

(心間120の場合) (-)※120~130

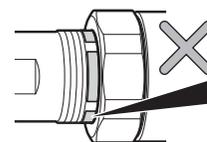
※標準仕様で対応できるのは心間120~130または170~190mmまでです。

- ④工具を使って袋ナットを確実に締め付ける。

すき間約1mm



止水栓と袋ナットのすき間が約1mmとなること。(約1mm以上すき間が開いている場合は、連結管の挿入不良または袋ナットの締め付け不足の可能性があるので、手直してください。)



袋ナット締め付け後に赤マークが見える場合は、止め輪の位置を手直してください。

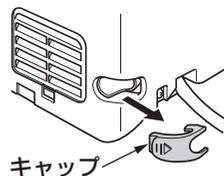
注意

- 止め輪が変形している場合は使用しないでください。止め輪と袋ナットは確実に施工してください。(正しく施工されていない場合、水が噴き出て、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。)
- 自動フラッシュバルブ本体は縦向きに取り付けてください。斜めや横向きに取り付けると不具合の原因になります。

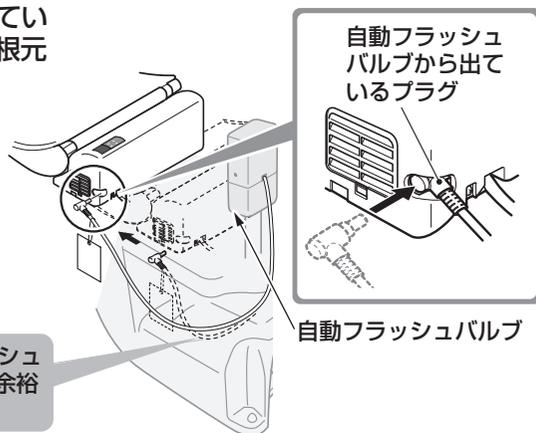
5-2 自動フラッシュバルブ本体の取り付け（つづき）

- ⑤心問調節完了後は工具を使ってすべての接続部を確実に締め付ける。
- ⑥自動フラッシュバルブから出ているプラグをウォシュレットに取り付ける。

(1)キャップを外す。

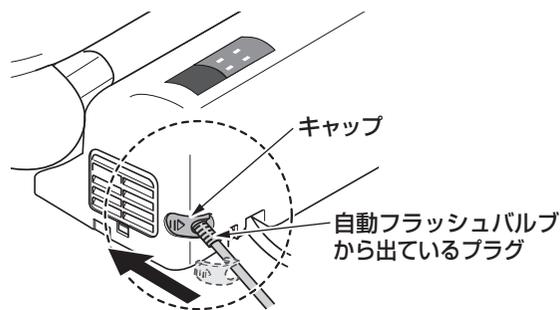


(2)自動フラッシュバルブから出ている信号線のプラグを横向きで根元まで確実に差し込む。



コードの長さは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。

(3)キャップを取り付ける。



※ウォシュレットの品番によって、プラグの差し込み位置が異なります。

6 洗浄水量の調節

ウォシュレットの便器洗浄ユニット施工説明書を参照のうえ、リモコンで確実に便器洗浄モードの設定を行ってください。

確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に設定してください。

		CS494系：腰掛便器		
		標準	自治体条例対応	
大洗浄	ウォシュレットのリモコンにて設定	4.8L (注1)	6L	8L
			必要に応じてウォシュレットのリモコンで設定してください。	
小洗浄		3.6L		

注1：大洗浄4.8L設定で汚物が流れない場合は、大洗浄6Lに設定してください。

7 ウォシュレットの電源の確認

ウォシュレットの電源が入っているか確認する。

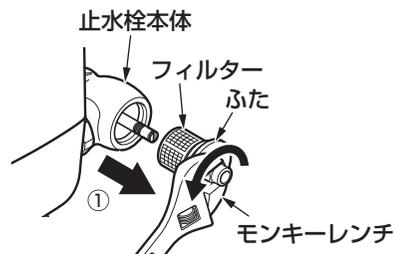
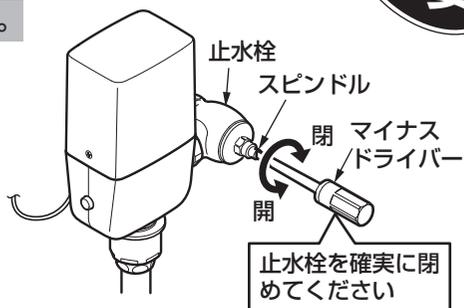
8 止水栓フィルターの清掃

重要

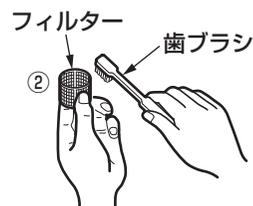
最初に止水栓を確実に閉めてください。

- ① モンキーレンチなどで、止水栓のふたを開け、フィルターごと引き抜く。

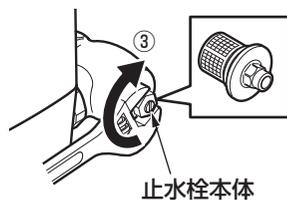
このとき、フィルターに付着したごみを止水栓内に落とさないように注意してください。



- ② ふたからフィルターを外し、歯ブラシなどで異物を除去する。



- ③ フィルターをふたに装着した状態で止水栓本体にふたを取り付け、モンキーレンチで確実に締め付ける。



※フィルターが止水栓内に引っかかった際は、無理にふたを閉めないでください。フィルターが破損します。

※ふたを開け閉めする際は、先にスピンドルを確実に閉めてください。水漏れや破損の原因となります。

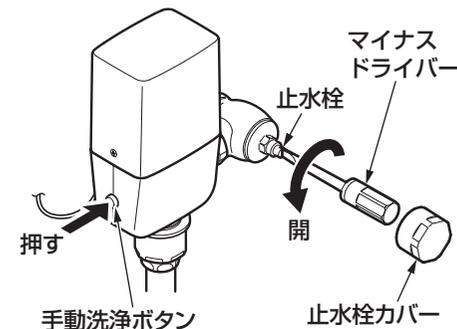
注意

設置直後は配管内のごみが流れ込んで止水栓フィルターにごみが詰まりやすくなります。ごみが詰まったままご使用されると洗浄不良の原因になります。

9 水勢の確認

電源を投入せずに止水栓を開けて通水すると、止水しない場合がありますのでご注意ください。

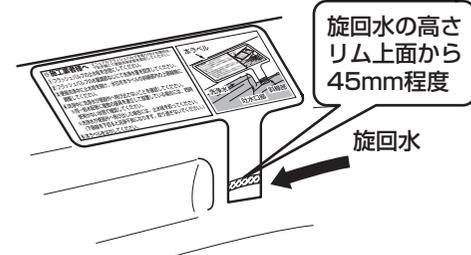
- ① 止水栓カバーを取り外す。
② 止水栓を全開にする。
③ 手動洗浄ボタンを10秒以上押して巡回水の高さが適切になっていることを確認する。
※下図参照



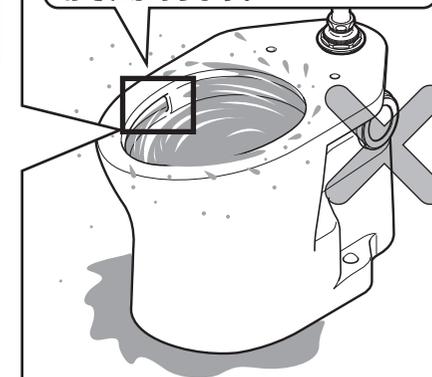
流動時の水圧が0.5MPaを超える場合は、便器の水位ラベルを見ながら止水栓で水勢を調節してください。

- ④ 止水栓カバーを取り付ける。

便器洗浄状態の調整方法についてはラベルを参照のうえ、調整してください。



水勢が強すぎると水が外に飛び出すおそれがあります。



豆知識

一周した巡回水の高さが上図の [] の範囲内になるように止水栓を調整してください。

現場水圧などの設置条件によっては、定流量弁の特性上、脈動音が発生する場合がありますが、異常ではありません。音が気になる場合は、止水栓を絞ることで音が低減する場合があります。

7. 試運転

試運転はウォシュレットとセットで行ってください。

① リモコン洗浄

大洗浄をしたあとの水たまり面の状態を確認する

和洋リモデル配管など、排水管の状況により水たまり面が下がる場合はウォシュレットのリモコンでモード設定してください。

この変更を行うと、大洗浄6.0L、小洗浄4.8Lとなります。

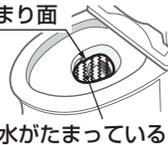
※標準水量(大洗浄4.8L、小洗浄3.6L)からモード変更設定した場合

リモコンで大洗浄用の「大」を押す。



正常な状態
設定変更は不要です。
(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。)

正常な水たまり面



この面まで水がたまっている

〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

水たまり面が低い状態
設定変更を行ってください。

水たまり面が低い



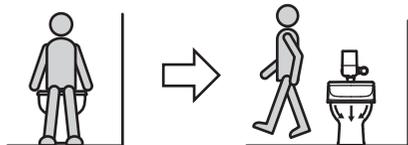
この面(斜線部分)まで水がたまっていない

設定変更

この場合は吐水量の再設定が必要です。ウォシュレットの便器洗浄ユニット施工説明書を参照してください。

② 自動洗浄

便座に6秒以上座り、立ち去ると、約10秒後に洗浄水が自動で流れることをご確認ください。

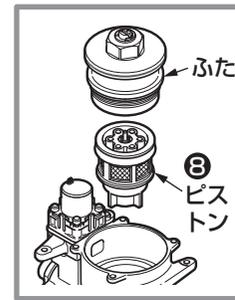


着座センサーの感知時間	洗浄水量
約6秒～120秒	小洗浄
120秒以上	大洗浄

③ 使用者に操作方法がわかるように、同梱のラベルをリモコンに近い壁面に貼り付けてください。

8. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



①②③⑤
自動フラッシュ
バルブ本体

③⑥⑦
フィルター
付き
止水栓

④
接続部

配線の確認

コネクターおよび信号線が接続されているか確認してください。

①コネクターは確実に接続していますか？

②信号線は確実に接続していますか？

➡ 6.3-5 自動フラッシュバルブ
本体の取り付け 参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

③自動フラッシュバルブ本体、止水栓はしっかり取り付けられていますか？

➡ 6.3-5 自動フラッシュバルブ
本体の取り付け 参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

④接続部はしっかり締め付けていますか？

➡ 6.3-5 自動フラッシュバルブ
本体の取り付け 参照

洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

⑤洗浄水量は正しく設定されていますか？

➡ 6.4-6 洗浄水量の調節 参照

⑥止水栓は開いていますか？

➡ 6.5-9 水勢の確認 参照

⑦止水栓フィルターのごみ詰まりはないですか？



➡ 止水栓フィルターの掃除をする。
掃除方法は 6.5-8 止水栓フィ
ルターの清掃 参照

⑧ピストンのごみ詰まりはないですか？



➡ ピストンの掃除をする。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。